

## 類義関係からみた日本語と韓国語の語彙の対応関係

南潤珍(東京外国語大学大学院)

### 1. はじめに

言語学習は理解能力と表現能力の習得を両軸として成り立つ。日本語を母語とする韓国語学習者(以下、学習者とする)が韓国語で表現するという事は、学習者の母語である日本語を出発点とし、それに対応する韓国語の表現を見つけ出す過程ともいえる<sup>1</sup>。本稿は、表現能力に注目し、学習者が正確かつ自然な韓国語を駆使するためにはどのような情報が必要なのかを語彙選択の側面から検討することを目的とする。

問題の所在を確認するため、まず学習者による以下の韓国語の作文を検討する<sup>2</sup>。

#### (1) 아. 공원에서 개가 걷는다.(→?왔다갔다 한다)

gong-won-eseo gaega geodneunda  
公園-loc 犬-sbj 歩く-cont-prs-ind  
(公園で犬が歩いている)

#### 이. 전주는 제일 야구 인구가 적고 그 위에(→게다가) 야구에 흥미가 있는 사람이 거의 없는 도시입니다.

jeonjuneun je-il yagu inguga jeoggo geu wi-e yagu-e heungmiga issneun  
全州(地名)-top 最も 野球人口-sbj 少ない-cv-, その上-loc 野球-loc 興味-sbj ある-attr.prs  
salam-i geo-ui eobsneun dosi-ibnida  
人-sbj ほとんど いる-attr.prs.neg 都市-cop-prs-ind  
(全州は最も野球人口が少なく、その上に野球に興味のある人がほとんどい都市です)

(1ア)は、事前に単語テストを実施し、出題された単語を用いて文を作るよう指示した課題の提出物であり、(1イ)は自由作文の提出物である。このような事実から、学習者はテストの準備、或いは自由作文の過程で各語彙の意味、文法的性質などをよく知ったうえで上の文を作ったことが推察しうる。実際に、(1)の各文に使われているすべての語彙は概念的に適切であり、文法的にも正しい。(1)の下線部を日本語に直訳した‘犬が歩いている、その上に’は日本語としてはその容認性に問題がないといえるものである。しかし、これらの文を自然な韓国語の文とは言い難い。学習者が自分の母語である日本語の表現を先に考え、その構造をそのまま持ってきて語彙だけを韓国語のものに変えた結果であると解釈しうる。

こうした事実から、韓国語の表現能力の向上のためには、語彙の用法に関する、より詳しい情報を提供すること、そして学習者の母語の干渉から生じる誤用を予測し、その予防策を提案することが必要である。

以下の論議では、学習者が韓国語で作文する際に直面すると予想される韓国語と日本語の語彙対応の問題を分析、考察する。

<sup>1</sup> Schmitt, N.(2000)pp.116-142, Koda, K.(1997), Carter R. and McCarthy M.(1988)pp.83-93, Lewis M.(1997) pp.60-66 など

<sup>2</sup> 本稿で引用する学習者の作文資料とは、韓国語を専攻する大学生によるものである。1年生は文字と発音などの入門から始まり、週6回、9時間の韓国語授業を年間30週受け、2年生も週6回、9時間の韓国語授業を年間30週うける。3,4年生は週1~2回の授業を延べ60週間受ける。

## 2. 日韓語彙の対応関係の種類

一般的に成人の学習者は、韓国語の作文のときに、まず日本語で内容を考え、その日本語に対応する韓国語の表現を見つけるため日韓辞書を引く。ところが日韓の語彙の対応のパターンは、1対1の対応だけでなく、多対1の対応や対応語のない場合があるなど、さまざまであり、日本語を基準とした韓国語との語彙対応のパターンは①日本語語彙:韓国語語彙=1:1,②日本語語彙:韓国語語彙=多:1,③日本語語彙:韓国語語彙=1:多④日本語語彙:韓国語語彙=1:φのように分類できる。このうち韓国語作文の際に学習者がもっとも困難を感じるだろうと思われる③と④のパターンを中心に考察してみることにする。

### 2.1. 日本語と韓国語の語彙が1:多の対応関係を示す場合

日本語の語彙を基準として対応の韓国語語彙を探すため日韓辞書を引くと、ひとつの日本語の語彙に複数の韓国語の語彙が対応語として提示されるケースが多い。これは1つの語彙が複数の意味を持つ多義語が多いためと考えられる。学習者の作文である(2)をみてみよう。

(2)ア. 제 방은 쓰레기가 하나도 없는 고운(→깨끗한) 방입니다.

je bang-eun sseulegiga hanado eobsneun go-un (kkaekkeushan) bang-ibnida.  
私-poss 部屋-top ゴミ-sbj ひとつもない-atr.prs きれいな-atr.prs 部屋-cop-prs-ind

(私の部屋はゴミひとつないきれいな部屋です)

イ. 주차장에 차를 멈춥니다(→세웁니다).

juchajang-e chaleul meomchubnida (se-ubnida).  
駐車場-loc 車-obj 止める-prs-ind

(駐車場に車を止めます)

(2ア)は日本語‘きれいだ’の下位意味のうち[清潔だ]に対応する‘깨끗하다’が必要な場合である。実際に斗山東亜辞書編集局(1996)には‘きれい’に対して‘①고움 go-um, 예쁨 yeppeum, 아름다움 aleumda-um, ②깨끗함 kkaekkeusham, 정갈함 jeonggalham, 맑음 malg-eum, ③흠이 없음 heum-i eobs-eum④완전함 wanjeonham 남김없음 namgim-eobs-eum ⑤깔끔함 kkalkkeumham 능숙함 neungsugham’と対応語が提示されており、韓国語学習者のための最新の日韓辞書である小学館(2008)には‘きれいだ’の項目に対して①(美しい) 아름답다 aleumdabda, 곱다 gobda, 예쁘다 yeppeuda; 잘생기다 jalsaenggida, ②(清潔) 깨끗하다 kkaekkeushada, (澄んでいる) 맑다 malgda, (きちんとしている) 단정하다 danjeonghada ③(すっかり) 깨끗이 kkaekkeus-i のように、下位意味を明示的に分類して対応語を提示している。しかし下位意味別の語彙選択の問題を意識しない学習者は‘きれいだ; 곱다 gobda’という不完全な知識に基づき(2ア)のような不自然な文を作るのである。この学習者にはできなかったが、辞書さえ引けば日本語単語の複数の下位意味のうち、どれが自分の表現しようとする内容に適したものであるかの判断は日本語を母語とする学習者にとってそれほど難しいことではない。

(2イ)は日本語‘とめる’の対応語が必要なケースであるが、小学館(2008)には‘とめる’の項目には対応語として‘①(停止させる) 멈추다 meomchuda, 세우다 se-uda ②(交通手段などを) 멎게 하다 meojge hada, (息) 죽이다 jug-ida, 멈추다 meomchuda, ③(消す) 끄다 kkeuda, ④(中断する・やめさせる) 말리다 mallida, ⑤(禁止する) 금지하다 geumjihada, 막다 magda, ⑥(固定する) 고정하다 gojeonghada, (綴る) 칠하다 cheolhada, (貼る) 붙이다 but-ida ⑦(注意する) 주목하다 jumoghada, 눈길을 멈추다 nungil-eul meomchuda’などが提示されている。(2イ)では①の[停止させる]の意味を持つ 멈추다 meomchuda, 세우다 se-uda の中から適切な語彙を選択しなければならない。韓国語では[停車]の意味であれば‘멈추다 meomchuda, 세우다 se-uda’両方使えるが、[駐車]の意味であれば‘세우다’を用いなければならない。しかし 멈추다 meomchuda, 세우다 se-uda の具体的な用法の説明や使い分けの基準が提示されていない限り学習者は(2イ)のような不自然な表現を作り出してしまふ。

(2)でみたように,学習者が表現しようとする意味を表す日本語単語が多義語の場合,学習者はその単語が持つ複数の下位意味から適切な意味を特定し,それに当てはまるひとつの韓国語語彙を選択することになる。これは日本語の内省に基づいて判断できる問題である。しかし1つの下位意味に対して複数の韓国語語彙が対応する場合には,それら語彙の使い分けの情報が提示されない限り適切な語彙選択は不可能である。即ち[停止させる]の意味の‘とめる’に対応する‘멈추다 meomchuda, 세우다 se-uda’のように類義語関係を成している語彙の中からもっとも適切な単語が選べられるように韓国語の類義語群の使い分けに関する情報もが提供されねければならないのである。

## 2.2. 日本語と韓国語の語彙の間に対応関係が成立しない場合

次の例は,日本語と韓国語の語彙の間に直接的な対応関係が想定しにくいことを示してくれる。

- (3) ア. (=1ア) 공원에서 개가 걷는다(→?왔다갔다 한다)  
 gong-won-eseo gaega geodneunda (wassdagassda handa)  
 公園-loc 犬-sbj 歩く-cont-prs-ind (うろうろする-prs-ind)  
 (公園で犬が歩いている)
- イ. 요즘 너무 틈이 있습니다.(→한가합니다)  
 yojeum neomu teum-i iss-seubnida. (hangahabnida)  
 最近, あまりにも 暇-sbj ある-prs-ind (暇だ-prs-ind)  
 (最近,とても暇です)

(3ア)は韓国語の表現としては不自然であるが,その日本語への直訳である‘公園で犬が歩いている’は日本語として比較的にならぬ文として受け入れられる<sup>3</sup>。従って(3ア)は学習者が日本語の文を先に考え,それを韓国語に直訳した結果であるとみなし,その誤用のメカニズムを考察していく。日本語の‘歩く’に対して日韓辞書では‘걷다 geodda/걸어가다 geol-eogada/거닐다 geonilda, 거처오다/살아가다, 돌아다니며...하다, 방문하다’などが提示されている。それらの中,(3ア)の文脈に適切と思われるのは‘걷다 geodda/걸어가다/거닐다’であるが,そのいずれに置き換えても(3ア)の許容性は変わらない。それは韓国語の‘걷다 geodda/걸어가다 geol-eogada/거닐다/geonilda’<sup>4</sup>と日本語の‘歩く’の意味領域が異なるためである。韓国語の‘걷다 geodda’は[直立歩行]の意味を持つ動詞であり,‘사람(人), 원숭이(サル), 로봇(ロボット), 새(鳥)’など両足で歩行する動作主に用いられるのが一般的である。もし‘개(犬), 고양이(猫)’など四足で動く動作主に対して用いると,非日常的な状況(動作主が前足を立てて後ろ足だけで移動するという不安定な状況など)を表すこととなる。反面,日本語の‘歩く’には韓国語の‘걷다 geodda’に比べ[直立歩行]の意味が強くないため,日本語の文‘公園で犬が歩いている’は‘①犬が公園をうろついている, ②公園で,犬が走らずにゆっくり移動している’のような意味に解釈できる。‘歩く’を機械的に‘걷다 geodda’に対応させるのではなく,‘어슬렁거리다 eoseulleonggeolida, 왔다 갔다 하다 wassda gassda hada’のような表現に書きかえなければならない。

これまでみてきたように,学習者が自然で正確な韓国語の表現を駆使するためには日本語と韓国語の語彙の対応関係だけでなく,非対応に関する情報もが提示されなければならない<sup>4</sup>。

一方,(3イ)は‘暇があります’という単語の連鎖を,それぞれの単語に対応する韓国語の単語の連鎖にした結果不自然な韓国語表現になったケースである。日本語の単語連鎖をひとつの単位と見てそれ

<sup>3</sup>日本語の母語話者への応答調査を通じて確認したところ,‘公園で犬が歩いている’の適切性は概ね認められたが,話者によっては多少不自然に感じるとの応答もあった。両言語の対応関係を調べる際,母語話者の内省に頼るだけでなく,コーパスの検索結果を利用した用法の確認が必要である。これからの課題にしたい。

<sup>4</sup>日本語と韓国語の対応関係の非対称性に関する論議としては,この問題を‘表現様相’の違いとして取り上げている金恩愛(2004)が詳しい。一方,日本語と韓国語の語彙の対応関係を語彙-統辞論的観点から考察した論議としては安根姫(2007)がある。

に対応する韓国語表現を対応させなければならないが、にも関わらず、必要な情報が与えられていないため、不適切な表現になってしまったと言える。このような誤用を防ぐためには韓国語の単語連鎖、即ちコロケーション情報が必要である。

### 3. コロケーション関係<sup>5</sup>からみた類義語の用法

2. では単語単位の対応が成立しないケースの中には単語連鎖すなわちコロケーション構成の対応情報が必要な場合があること、学習者の語彙選択の情報として韓国語の類義語の使い分けに関する情報が必要であることについて述べた。ところで単語と単語の意味関係には完全な同義関係は存在せず、類似した意味を持つ単語どうしにも意味の違いが存在する。これを認めると、類義語の使い分け情報とは、類義関係におかれた各単語の弁別的意味が実現される条件を明らかにすることに他ならない。ここで注目されるのが、ある単語の複数の意味のうちどれが実現されるかは文の中で隣接する他の単語との関係によって決定される(Firth(1957))、という考えに基づいたコロケーション論議である。このようなコロケーション論議の観点に立つと、類義関係の各単語において弁別的意味の実現は隣接する他の単語との関係によって決定されると言える。類義語の使い分け情報としてコロケーション情報を検討する所以がここにある。

以下では‘優しい’、‘あと’を例に挙げ、それぞれの単語と1:多の対応関係を示す韓国語の類義語のコロケーション関係を調べ、その類義語の使い分け情報としての可能性を検討することとする。

#### 3.1. ‘優しい’に対応する韓国語語彙のコロケーション関係

‘優しい’は小学館(2008)に① [親切だ] 친절하다 chinjeolhada, ② [温和だ] 온순하다 onsunhada, 곱다 gobda, ③ [思いやりがある] 다정하다 dajeonghada, ④ [表情や声] 상냥하다 sangnyanghada, 부드럽다 budeuleobda ⑤ [環境に] 친화하다 chinhwahada と対応語が提示されている。ところが⑤を除いた①から④の下位意味の区別は容易なことではない。実際に日本語から韓国語への翻訳テキストでの‘優しい’の翻訳を見ると‘따스하다 ttaseuhada, 자상하다 jasanghada, 착하다 chaghada, 너그럽다 neogeuleobda, 온화하다 onwhahada’のように辞書では提示されていない語彙が使われることが多く、‘다정한 목소리 dajeonghan mogsoli (優しい声), 부드러운 목소리 budeuleoun mogsoli (優しい声), 친절한 말씨 chinjeolhan malssi (親切な口調)’などの表現が良く使われており、辞書の対応語情報だけでは適切な語彙選択は難しいことが予想される。このような問題点の解決のため、辞書で提示された‘다정하다 dajeonghada, 상냥하다 sangnyanghada, 부드럽다 budeuleobda, 친절하다 chinjeolhada’ と翻訳テキストで‘優しい’の翻訳語として用いられる頻度の高い‘자상하다 jasanghada, 착하다 chaghada’の連体形を対象にコロケーション関係を調べ、その使い分けの基準を探ることとする。

コロケーション関係の調べに当たって利用した資料は、2007年に公開された『세종계획 최종 성과물世宗計画最終成果物』のコーパスである。この資料は2202個のサンプルで構成された92,433,967文節のものである。それぞれの単語の頻度と連体形の前後の単語との共起頻度を表でまとめると以下のとおりである。

<sup>5</sup> そもそも英語学の術語である collocation の訳語として‘コロケーション’を使うことにする。そして一定の条件の下で共起する2つ以上の語彙の関係を示すときには‘コロケーション関係’を、コロケーション関係を示す言語構成そのものを指すときには‘コロケーション構成’を使うこととする。

| ‘부드러운 budeuleoun’의 코로케이션(頻度;1, 713) |    |              |    |               |    |             |    |
|-------------------------------------|----|--------------|----|---------------|----|-------------|----|
| 前項語彙 (- 1 位置)                       |    |              |    | 後項語彙 (+ 1 位置) |    |             |    |
| 語彙                                  | 頻度 | 語彙           | 頻度 | 語彙            | 頻度 | 語彙          | 頻度 |
| 그<br>その                             | 19 | 자연스럽고        | 9  | 목소리로<br>声で    | 43 | 바람이<br>風が   | 10 |
| 그의<br>彼の                            | 19 | 길고           | 8  | 느낌을<br>感想を    | 22 | 것,<br>もの    | 9  |
| 같은<br>同じ                            | 17 | 그리고<br>そして   | 7  | 맛을<br>味を      | 22 | 말로<br>言葉で   | 9  |
| 아주<br>とても                           | 16 | 얇고<br>薄くて    | 7  | 미소를<br>微笑を    | 17 | 곡선으로<br>曲線で | 8  |
| 따뜻하고<br>温かく                         | 14 | 없<br>ない      | 7  | 것이<br>ものが     | 16 | 곡선을<br>曲線を  | 8  |
| 가볍고<br>軽く                           | 11 | 여전히<br>依然    | 7  | 분위기를<br>雰囲気を  | 15 | 그녀의<br>彼女の  | 7  |
| 낮고<br>低くて                           | 10 | 은은하고<br>かすかで | 7  | 목소리를<br>声を    | 14 | 손길로<br>手で   | 7  |
| 있는<br>ある                            | 10 | 그는<br>彼は     | 6  | 어조로<br>口調で    | 14 | 음성으로<br>音声で | 7  |
| 등<br>など                             | 9  | 섬세하고<br>繊細で  | 6  | 것을<br>ものを     | 10 | 느낌의<br>感じの  | 6  |

‘부드럽다 budeuleobda’는 ‘(NP1 가) NP2 가-’의 문型を取る形容詞であり, 連体形は ‘NP2 가 부드러운 budeuleounNP1, 부드러운 budeuleounNP2’의 構造で用いられる. 表でみるように NP2 は人の声や味, 雰囲気などを表す名詞が中心となる.

| ‘착한 chaghan’의 코로케이션(頻度;1, 397) |    |               |    |                |    |              |    |
|--------------------------------|----|---------------|----|----------------|----|--------------|----|
| 前項語彙 (- 1 位置)                  |    |               |    | 後項語彙 (+ 1 位置)  |    |              |    |
| 語彙                             | 頻度 | 語彙            | 頻度 | 語彙             | 頻度 | 語彙           | 頻度 |
| 마음씨<br>氣立て                     | 31 | 그런<br>そんな     | 9  | 일을<br>ことを      | 89 | 사람들이<br>人々が  | 12 |
| 마음<br>心                        | 25 | 나는<br>私は      | 8  | 사람이<br>人が      | 44 | 심성을<br>心性を   | 9  |
| 하는<br>する                       | 19 | 마음이<br>心が     | 8  | 사람은<br>人は      | 23 | 사람에게<br>人に   | 8  |
| 아주<br>とても                      | 16 | 우리<br>我ら      | 8  | 사람을<br>人を      | 22 | 사람의<br>人の    | 8  |
| 그<br>その                        | 14 | 이렇게<br>このように  | 8  | 마음을<br>心を      | 19 | 여자<br>女子     | 8  |
| 어질고<br>寛大で                     | 13 | 참<br>まさに      | 8  | 사마리아인<br>サマリア人 | 18 | 것<br>もの      | 7  |
| 있는<br>ある                       | 13 | 한다.<br>する     | 8  | 일<br>こと        | 17 | 마음씨가<br>氣立てが | 7  |
| 예쁘고<br>可愛くて                    | 12 | 것이다.<br>ものである | 7  | 아이가<br>子供が     | 15 | 마음씨를<br>氣立てを | 7  |
| 이<br>この                        | 12 | 곱고<br>可愛くて    | 7  | 사람<br>人        | 13 | 아이를<br>子供を   | 7  |
| 정말<br>本当に                      | 12 | 너무<br>あまりに    | 7  | 어린이가<br>子供が    | 13 | 아기<br>赤ん坊    | 6  |

‘착하다 chaghada’는 ‘(NP1 가) NP2 가-’의 문型を取る形容詞であり, 連体形は ‘NP2 가 착한 chaghan NP1, 착한 chaghanNP2’의 構造で用いられる. 表でみるように NP1 は人, NP2 は人の心や氣立ちなどを表す名詞が中心となる. そして NP1 には, 人を表す名詞のうち大人よりは子供, 男性よりは女性を表す名詞が使われる頻度が高い傾向が見えた. ここで注目されるのがかなり高い頻度をみせ

る‘착한 일 chaghan il’である.これは‘일이 착하다 il-I chaghada’への書き換えができなく,日本語との対応においても単語連鎖ではなく‘善行’というひとつの単語に対応するものである.このようなことから‘착한 일 chaghan il’は‘착하다 chaghada’の一般的用法から離れたものと考えられる.

| 前項語彙 (-1位置)   |    |                 |    | 後項語彙 (+1位置) |    |                 |    |
|---------------|----|-----------------|----|-------------|----|-----------------|----|
| 語彙            | 頻度 | 語彙              | 頻度 | 語彙          | 頻度 | 語彙              | 頻度 |
| 대한<br>対する     | 11 | 자상하고<br>優しくて    | 3  | 설명이<br>説明が  | 6  | 서비스가<br>サービスが   | 3  |
| 그<br>その       | 9  | 정말<br>本当に       | 3  | 태도를<br>態度を  | 6  | 안내서가<br>案内書が    | 3  |
| 매우<br>非常に     | 4  | 주는<br>くれる       | 3  | 말<br>言葉     | 5  | 가이드를<br>ガイドを    | 2  |
| 이<br>この       | 4  | 떠맡았던<br>のばして塗った | 3  | 설명에<br>説明に  | 5  | 공무원에게는<br>公務員には | 2  |
| 이렇게<br>このように  | 4  | 것이다.<br>ことである   | 2  | 설명을<br>説明を  | 5  | 노파는<br>老女は      | 2  |
| 가장<br>最も      | 3  | 교사는<br>教師は      | 2  | 안내를<br>案内を  | 5  | 대접을<br>接待を      | 2  |
| 그는<br>彼は      | 3  | 교육장의<br>教育長の    | 2  | 태도로<br>態度で  | 5  | 마음씨<br>気立て      | 2  |
| 누구에게나<br>誰にでも | 3  | 그러나<br>しかし      | 2  | 설명도<br>説明も  | 4  | 마음으로<br>心で      | 2  |
| 보다<br>より      | 3  | 그의<br>彼の        | 2  | 표정을<br>表情を  | 4  | 말씨로<br>口調で      | 2  |
| 있고<br>あって     | 3  | 나의<br>私の        | 2  | 마음이<br>心が   | 3  | 말씨를<br>口調を      | 2  |

‘친절하다 chinjeolhada’は‘NP1가 NP2에게-’と‘(NP1가) NP3가-’の文型を取る形容詞であり,連体形は‘(NP2에게) 친절한 chinjeolhan NP1, 친절한 chinjeolhan NP3’の構造で用いられる. NP1, NP2 は人, NP3 は人の心や行為を表す名詞が中心となる.

| 前項語彙 (-1位置)    |    |               |    | 後項語彙 (+1位置) |    |                |    |
|----------------|----|---------------|----|-------------|----|----------------|----|
| 語彙             | 頻度 | 語彙            | 頻度 | 語彙          | 頻度 | 語彙             | 頻度 |
| 마치<br>まるで      | 9  | 어머니의<br>お母さんの | 3  | 모습을<br>姿を   | 12 | 연인처럼<br>恋人のように | 4  |
| 그<br>その        | 5  | 우리의<br>我々の    | 3  | 목소리로<br>声で  | 9  | 얼굴로<br>顔で      | 4  |
| 나의<br>私の       | 4  | 있었다.<br>あった   | 3  | 친구<br>友達    | 9  | 우리<br>我々       | 4  |
| 아주머니의<br>おばさんの | 4  | 정말<br>本当に     | 3  | 친구가<br>友達が  | 7  | 이웃이<br>隣人が     | 4  |
| 우리는<br>我々は     | 4  | 가서<br>行って     | 2  | 모습으로<br>姿で  | 6  | 느낌을<br>感じを     | 3  |
| 같이<br>一緒に      | 3  | 거기에는<br>あそこには | 2  | 미소를<br>笑みを  | 5  | 대화를<br>対話を     | 3  |
| 그렇게<br>そんなに    | 3  | 그런<br>そんな     | 2  | 눈길을<br>視線を  | 4  | 모습<br>姿        | 3  |
| 듯              | 3  | 그리고<br>そして    | 2  | 말<br>言葉     | 4  | 웃음을<br>笑いを     | 3  |
| 따뜻하고<br>温かくて   | 3  | 그의<br>彼の      | 2  | 말을<br>言葉を   | 4  | 친구들과<br>友人たちと  | 3  |
| 아주<br>非常に      | 3  | 깊고<br>深くて     | 2  | 모습이<br>姿が   | 4  | 포즈를<br>ポーズを    | 3  |

‘다정하다 dajeonghada’ は‘(NP1 가) NP2 가-’の文型を取る形容詞であり, 連体形は ‘다정한 dajeonghan NP2, 다정한 dajeonghan NP3,’ の構造で用いられる. NP1は人, NP2 は人の心や行為を表す名詞であるが, NP3 は人と人の関係を表す名詞である. この‘다정한 dajeonghan NP3’の存在は‘다정하다 dajeonghada’を他の語彙と使い分けるひとつの指標であると言える.

| 前項語彙 (-1位置)                  |    |               |    | 後項語彙 (+1位置)   |    |                   |    |
|------------------------------|----|---------------|----|---------------|----|-------------------|----|
| 語彙                           | 頻度 | 語彙            | 頻度 | 語彙            | 頻度 | 語彙                | 頻度 |
| 친절하고<br>優しくて                 | 3  | 없이<br>なしで     | 2  | 마음<br>心       | 3  | 부모의<br>親の         | 2  |
| 가르치는<br>教える                  | 2  | 주는<br>くれる     | 2  | 설명을<br>説明を    | 3  | 분이었다.<br>方だった     | 2  |
| 그의<br>彼の                     | 2  | 주던<br>くれてた    | 2  | 성격의<br>性格の    | 3  | 사랑을<br>愛を         | 2  |
| 내게만은<br>私にだけは                | 2  | 참<br>本当に      | 2  | 아버지<br>お父さん   | 3  | 선생님은<br>先生は       | 2  |
| 더<br>もっと                     | 2  | 해<br>して       | 2  | 아버지의<br>お父さんの | 3  | 손윗사람으로<br>目上の人として | 2  |
| 부드럽고<br>優しくて                 | 2  | 현명하고<br>賢明で   | 2  | 남편,<br>夫      | 2  | 아버지.<br>お父さん      | 2  |
| 선생님의<br>先生の                  | 2  | 훌륭하고<br>偉くて   | 2  | 남편이<br>夫が     | 2  | 아버지와<br>お父さんと     | 2  |
| 섬세하고<br>繊細で                  | 2  | 가정에서는<br>家庭では | 1  | 마음쯤 일<br>気がかり | 2  | 안내에<br>案内に        | 2  |
| 어머니의<br>お母さんの                | 2  | 가족에게도<br>家族にも | 1  | 면이<br>面が      | 2  | 어머니가<br>お母さんが     | 2  |
| 어찌겠냐는<br>どうするつ<br>もりかとい<br>う | 2  | 겸손하고<br>謙遜で   | 1  | 목소리로<br>声で    | 2  | 해설을<br>解説を        | 2  |

‘자상하다 jasanghada’ は‘(NP1 가) NP2 에게-’と ‘(NP1 가) NP3 가-’の文型を取る形容詞であり, 連体形は‘(NP2 에게) 자상한 NP1, 자상한 NP3’の構造で用いられる. NP1, NP2 は人, NP3 は人の心や行為を表す名詞が中心となる. こうなると‘자상하다 jasanghada’は‘친절하다 chinjeolhada’と同じ用法を持つと考えうる. しかし表でみるように, NP1 と NP2 の関係において‘자상하다 jasanghada’は ‘친절하다 chinjeolhada’ と区別される. すなわち, ‘친절하다 chinjeolhada’の NP1 と NP2 にはどの名詞でも使われるが, ‘자상하다 jasanghada’の NP1 と NP2 は夫婦・親子・恋人などの関係を成す名詞である. そして NP1 は親子関係・上下関係では目上のひと、夫婦や恋人関係では男性を表すことが多い.

(4) 아. 아이들이 좋아하는 것에 한없이 신기하고 흐뭇해 한 자상한 엄마다 <東亜日報 2008. 5. 16>

a-ideul-i joh-ahaneun geos-e han-eobs-i singihago heumushae han  
子供-pl.sbj 喜ぶ-attrib.pr こと-loc 限りない 嬉ぶ-cv 満足する-cv する-attrib.pr  
jasanghan eommada  
優しい-attrib.pr 母-cop.pr.ind

(子供たちの喜ぶ姿に限りない嬉しさと満足感を感じる優しい母である)

イ. 카요는 귀엽고 상냥한 여자친구이며,

ka-yoneun gwi-yeobgo sangnyanghan yeojachingu-imyeo,  
佳代-top 可愛い-cv 優しい-attrib.pr 彼女-cop.pr.cv

마사시는 작은 것에도 신경 써 주는 자상한 남자친구이다 <東亜日報 2005. 2. 7>

masasineun jag-eun geos-edo singyeong sseo juneun jasanghan namjachingu-ida  
雅史-top 細かい-attrib.pr こと-loc も 気配る-attrib.pr 優しい-attrib.pr 彼氏-cop.pr.cv

(佳代は可愛くて優しい彼女であり, 雅史は細かいことにも気を配る優しい彼氏である)

| ‘상냥한 sangnyanghan’ のコロケーション(頻度;109) |    |                   |    |              |    |                  |    |
|-------------------------------------|----|-------------------|----|--------------|----|------------------|----|
| 前項語彙 (-1位置)                         |    |                   |    | 後項語彙 (+1位置)  |    |                  |    |
| 語彙                                  | 頻度 | 語彙                | 頻度 | 語彙           | 頻度 | 語彙               | 頻度 |
| 그<br>その                             | 8  | 여기자의<br>女子記者の     | 1  | 목소리로<br>声で   | 8  | 아가씨의<br>娘の       | 1  |
| 그의<br>彼の                            | 2  | 여승무원들의<br>女性乗務員らの | 1  | 미소를<br>笑みを   | 5  | 아나운서가<br>アナウンサーが | 1  |
| 동안<br>間                             | 2  | 여종업원의<br>女性従業員の   | 1  | 목소리의<br>声の   | 3  | 아씨만<br>お嬢様だけ     | 1  |
| 마디<br>こと                            | 2  | 스잔의<br>スーザンの      | 1  | 표정을<br>表情を   | 3  | 안내양,<br>案内員      | 1  |
| 만큼<br>位                             | 2  | 아는<br>知っている       | 1  | 눈초리로<br>目つきで | 2  | 그<br>彼           | 1  |
| 맑고<br>澄んで                           | 2  | 아름다움과<br>美しさと     | 1  | 목소리는<br>声は   | 2  | 그녀는<br>彼女は       | 1  |
| 매우<br>非常に                           | 2  | 아름답고<br>きれいで      | 1  | 어조로<br>口調で   | 2  | 낮이<br>顔が         | 1  |
| 부인은<br>婦人は                          | 2  | 걸려와<br>かかってきて     | 1  | 여자<br>女子     | 2  | 내<br>私の          | 1  |
| 여전히<br>依然と                          | 2  | 곱고<br>きれいで        | 1  | 웃음을<br>笑いを   | 2  | 눈빛을<br>視線を       | 1  |
| 수줍고<br>シャイで                         | 1  | 귀엽고<br>可愛くて       | 1  | 친절을<br>親切を   | 2  | 눈이<br>目が         | 1  |

‘상냥하다 sangnyanghada’ は ‘(NP1 가) NP2-’ の文型を取る形容詞であり, 連体形は ‘상냥한 sangnyangha NP1, 상냥한 sangnyangha NP2’ の構造で用いられる. NP1は人, NP2は人の声や表情などを表す名詞が中心となる. そして表でみるように, NP1は主に女性を表す名詞となるケースが多い.

以上の内容を表にまとめると以下のようなものである.

|                  | 対象 (NP 예게)<br>の有無 | 人間名詞の特徴 |       |        |
|------------------|-------------------|---------|-------|--------|
|                  |                   | 関係性を表す  | 男女の別  | 上下関係の別 |
| 부드러운 budeuleoun  | 無                 | 無       | 無     | 無      |
| 착한 chaghan       | 無                 | 無       | 有; 女性 | 有; 下位者 |
| 친절한 chinjeolhan  | 有                 | 無       | 無     | 無      |
| 다정한 dajeonghan   | 無                 | 有       | 無     | 無      |
| 자상한 jasanghan    | 有                 | 有       | 有; 男性 | 有; 上位者 |
| 상냥한 sangnyanghan | 無                 | 無       | 有; 女性 | 無      |

上の表を国立国語研究所 『現代日本語書き言葉均衡コーパス』 モニター公開データ (2009年度版) の書籍 10423 サンプルから得た ‘優しい’ のコロケーション情報と比較してみると ‘優しい’ の用法が韓国語の類義語群に比べ, より多様な用法を持っていることが分かる.



| ‘優しい’のコロケーション(頻度;747) |    |      |    |             |    |      |    |
|-----------------------|----|------|----|-------------|----|------|----|
| 前項語彙 (-1位置)           |    |      |    | 後項語彙 (+1位置) |    |      |    |
| 語彙                    | 頻度 | 語彙   | 頻度 | 語彙          | 頻度 | 語彙   | 頻度 |
| 環境に                   | 67 | 自然に  | 4  | 言葉          | 36 | 目    | 13 |
| 人に                    | 13 | 目に   | 3  | 人           | 30 | 笑顔   | 9  |
| 心の                    | 11 | 耳に   | 3  | 声           | 25 | 母    | 8  |
| 地球に                   | 7  | こんな  | 3  | 子           | 24 | 社会   | 7  |
| その                    | 6  | そんな  | 3  | 気持ち         | 21 | お母さん | 6  |
| 体に                    | 5  | とっても | 3  | 心           | 18 | 人柄   | 6  |
| 対する                   | 5  | 弱者に  | 3  | 顔           | 17 | 性格   | 6  |
| 肌に                    | 5  | 人間に  | 3  | 眼差し         | 14 | 男    | 6  |
| あの                    | 4  | 他人に  | 3  | こと          | 13 |      |    |
| とても                   | 4  | 思いやる | 3  |             |    |      |    |
| 気の                    | 4  | 心根の  | 3  |             |    |      |    |

### 3.2. ‘あと’に対応する韓国語語彙のコロケーション関係

‘あと’は小学館(2008)に①[時間が]뒤 dwi, 후 hu, ②[それ以上の]더 deo, ③[後方, 背後] 뒤 dwi, 뒤쪽 dwijjog, ④[順序]다음 daeum, 나중 najung, ⑤[残り]나머지 nameoji, ⑥[後任] 뒤 dwi, 후임 huim, ⑦[将来]미래 mirae, 장래 jangrae, ⑧[それから]그리고 geurigo, 게다가 gedaga と対応語が提示されている。ここではこれらのうち①[時間が]の意味に対応する‘뒤 dwi, 후 hu’の使い分けについて検討してみる。

(5) 아. 이들은 오후 2시경 격포항으로 되돌아와 집회를 가진 뒤 해산했다.

ideul-eun ohu 2sigyeong gyeongpohang-eulo doedol-a-wa jibhoeleul gajin dwi haesanhaessda.  
 彼-pl.top 午後2時ごろ 格浦港(地名)-loc 戻る-cv, 集会-obj 持つ-attr.pst 後, 解散する-pst.ind.  
 (彼らは午後2時ごろ格浦港に戻り, 集会をした後, 解散した.)

이. 정부는 …공청회를 가진 후 이를 확정할 예정이다.

jeongbuneun gongcheonghoeleul gajin hu ileul hwagjeonghal yejeong-ida.  
 政府-top 公聴会-obj 持つ-attr.pst 後, これ-obj 確定する-attr.ftr 予定-cop.prt.ind.  
 (政府は公聴会を開いた後, 最終的に決める予定だ.)

우. 임창용이 경기 뒤 인터뷰에서 한 말.

imchang-yong-i gyeonggi dwi inteobyu-eseo han mal.  
 林昌龍(人名)-sbj 試合 後 インタビュー-loc する-attr.pst 言葉  
 (林昌龍が試合後のインタビューで言ったことば.)

エ. 경기 후 특유의 자신 있는 표정으로 인터뷰에 나선 박지은은

gyeonggi hu teug-yu-ui jasin issneun pyojeong-eulo inteobyu-e naseon bagji-eun-eun  
 試合 後 特有-poss 自信 ある-attr.prs 表情-inst インタビュー-loc 出る-attr.pst 朴祉垠(人名)-top  
 (試合後, 特有の自信たっぷりの表情でインタビューに応じた朴祉垠は)

(5) は南潤珍(2006)で提示された例で<sup>6</sup>, 韓国語の新聞記事から収集したものである。これらの例からわかるように, ‘뒤 dwi’ と ‘후 hu’ の使い分けは, 母語話者にとってもその区別が容易につかない問題のようである。しかし両語彙が完全に一致するわけでもなく, 正誤より表現の自然さを志向する場合, このような類似した語彙の使い分けに対する知識が要求されるものである。

<sup>6</sup>南潤珍(2006)は, 韓国の新聞記事 2000 件とその日本語訳で構成された並列コーパスを対象に, コロケーション関係の韓日対照を試みた研究である。以下, 特に言及のない限り, 新聞記事を出典とする例文, コロケーション情報は全て南潤珍(2006)によるものである。

ここで注目されるのが, '후 hu' と '뒤 dwi' のコロケーション関係である. これらの語彙のコロケーション関係を調べて見ると, '뒤 dwi' の-1の位置, 即ち, '뒤 dwi' のすぐ前の位置には '강조한, 검토한, 구성한, 끝난, 끝낸, 날린, 내준, 넣은, 논의한, 다친, 도착한, 마친, 바꾼, 사들인, 수렴한, 진입한, 처리한, 파악한' など用言の連体形が主であるのに対し, '후 hu' の-1の位置には, '퇴직', '붕괴', '발병', '해체' など, 名詞が現れる. このことから '뒤 dwi' の前には用言の連体形が, '후 hu' の前の어절には名詞が来る頻度が高く, コロケーション構成を成す際に, 異なる様相を見せていることがわかる.

このように, コロケーション関係情報は, 内省では掴むことが難しい言語使用の「傾向」を頻度データによって客観的に示しうるもので, 表現の「自然さ」を教えるためのよい材料である.

#### 4. まとめ

これまで日本語を母語とする韓国語学習者が自分の考えを韓国語で表現しようとするときにぶつかる問題点を語彙学習という側面から検討した. 成人の学習者は, 学習言語で表現するときに母語を出発点とすることに着眼し, 学習者の韓国語表現に現れる問題点について韓国語と日本語の語彙の対応関係を中心に考察を行った. その主な内容は以下のようである.

1) 日本語単語に対する韓国語の対応語が複数存在する場合, 対応語同士の語彙-意味関係, 特に類義関係を成す語彙の使い分けに関する情報が必要である. このとき, 有効なのがコロケーション関係の情報である.(とめる: 세우다, 멈추다など)

2) 韓国語対応語の情報は日本語の単語に対するものだけではなくコロケーション構成全体に対する韓国語の対応語, 対応構成に関する情報が提示されなければならない.(暇がある: 한가하다など)

3) 日本語の見出し語に対して対応する韓国語がない場合にもその情報が提示されなければならない. 非対応情報は対応情報と同等な価値を持つという認識の下で対照研究の成果を積極的に取り入れた記述が要求される.(歩く: 걸다 geodda など)

4) 日本語の '優しい' は韓国語の '다정하다 dajeonghada, 상냥하다 sangnyanghada, 부드럽다 budeuleobda, 친절하다 chinjeolhada, 자상하다 jasanghada, 착하다 chaghada' に対応する. それぞれの韓国語対応は類義関係をなしており, そのコロケーション関係を検討した結果, 対象名詞句(NP 에게)の有無, 名詞の意味的属性(人間関係を表す意味, 男女の区別, 上下関係の区別など)によってそれぞれの単語の用法がわけられることが明らかになった

5) 日本語の 'あと' は時間の前後関係を表すときに韓国語の '뒤 dwi' と '후' に対応するが, これらの語彙の使い分けは韓国語母語話者にとっても難しい問題である. ところがこれらの語彙のコロケーション関係を調べて見た結果, '뒤' は用言の連体形の後ろに, '후' は名詞の後ろに現れる傾向が把握できるようになった.

こうした語彙対応の情報は, 日本語を基準とした韓国語と日本語の語彙対照研究の成果として得られるものである. その研究を深めるためには両言語の母語話者の内省に加え, 実際の語彙使用に基づいた情報が必須である. 日本語のコーパスから語彙の使用頻度および各語彙の意味別頻度, コロケーション情報などを把握し, それに対応する韓国語の語彙の情報を抽出することが必要である.

## 参考文献

### 1. 資料

国立国語研究院(1999), 『표준국어대사전(標準国語大辞典)』, ソウル: 斗山東亜.

斗山東亜辞書編集局(1996), 『프라임 일한사전(プライム日韓辞典)』, ソウル: 斗山東亜.

徐尚揆 他(2004), 『외국인을 위한 한국어사전(外国人のための韓国語辞典)』, ソウル: シンウォンプライム.

延世大学校言語情報開発研究院(1998), 『연세한국어사전(延世韓国語辞典)』, ソウル: 斗山東亜.

菅野裕臣 他(1988), 『コスモス朝和辞典』, 東京: 白水社.

日本電子化辞書研究所(2001), 『EDR 電子化辞書』.  
 野間秀樹(1999), 『暮らしの単語集 韓国語』, 東京 : ナツメ社.  
 油谷幸利 他(1992), 『朝鮮語辞典』, 東京 : 小学館.

## 2. 論著

- 金鎮海(2000), 「國語連語研究」, 서울 : 경희대학교 대학원 박사 학위 논문.  
 남윤진(2000), 「현대국어의 조사에 대한 계량언어학적 연구」, 서울 : 태학사, pp. 169~171.  
 다국어언어대조연구팀(2006), 「다국어언어대조연구」, 한국 학술 진흥 재단 기초 학문 육성 지원 과제 제 2 차년도 중간 발표회 논문집, pp. 1~24.  
 박병선(2005), 「한국어 계량적 연구 방법론」, 서울 : 도서출판 亦樂, pp. 21~88.  
 임근석(2002), 「현대국어의 어휘적언어 연구」, 서울 : 서울대학교 대학원 석사 학위 논문, pp. 21~58.  
 임홍빈(2002), 「한국어 언어의 개념과 그 통사 · 의미적 성격」, <國語學> 39, 서울 : 國語學會, pp. 279~312.  
 한영균(2002), 「어휘 기술을 위한 언어 정보의 추출 및 활용과 관련된 몇 가지 문제」, <國語學> 39, 서울 : 國語學會, pp.137~172.  
 홍중선 외(2001), 「한국어 언어관계 연구」, 서울 : 도서출판 月印, pp. 7~47.  
 安垠姬(2007), 「単語結合論的観点から見た韓国語「tada」と日本語の「乗る」-対照語彙論の構築のために-」, <朝鮮学報> 203, 天理:朝鮮学会, pp. 69~111.  
 金恩愛(2004), 「日本語の名詞志向構造( nominal-oriented structure )と韓国語の動詞志向構造( verbal-oriented structure )」, <朝鮮学報> 188, 天理:朝鮮学会, pp.1~83.  
 南潤珍(2006), 「日本語と韓国語の連語構造の対照分析に基づいた韓国語教材の開発に関する研究」, 平成 16-17 年度科学研究費補助金基盤研究研究成果報告書(課題番号 16520333).  
 南潤珍 (2007)「韓国語教育におけるコロケーション情報の活用」, 野間秀樹 編著(2007), 『韓国語教育論講座 1』, 東京 : くろしお出版, pp. 609~627.  
 南潤珍 (2009)「表現能力に重点をおいた韓国語学習における対照語彙情報の活用」, 『朝鮮半島のことばと社会』 明石書店 ;東京.  
 Carter R. and McCarthy M.(1988), *Vocabulary and Language Teaching*, London : Longman, pp. 83~93.  
 Firth(1957), Modes of Meaning, *Papers in Linguistics, 1934-1951*, London: Oxford University Press, pp. 190-215.  
 Koda, K.(1977), Orthographic Knowledge in L2 Lexical Learning, Coady, J. & Huckin, T.(1997), pp. 35~52.  
 Lewis, M.(1997), *Implementing the Lexical Approach - Putting Theory into Practice*, Hove : Language Teaching Publications, pp. 60~66.  
 Lewis, M. ed. (2000), *Teaching Collocation*, Boston : Thomson, Heinle, pp.126~185.  
 Schmitt (2000), *Vocabulary in Language Teaching*, Cambridge : Cambridge University Press, pp.116~142.  
 Sinclair, J. (1991), *Corpus, Concordance, Collocation*, Oxford : Oxford University Press, pp.109~122.

